

# 長野県下伊那郡高森町議会

## 1 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会

### (1) 政治倫理条例等の制定

平成23年6月定例会において議会議案により、町長等並びに議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定め、清浄で民主的な町政の発展に寄与することを目的とするため、政治倫理条例を制定した。(平成24年3月一部改正)

現在、町当局と協働し、まちづくり基本条例(仮)に議会基本条例を包括すべく制定について議論を行っている。

### (2) 対面方式の一般質問

一般質問は、平成21年度より町長等執行機関に対して質問しやすいように、一般質問席を設けて対面方式としている。質問は通告した内容について、活発な質疑応答が行えるように60分とし、質問は一問一答で進めているが、時間内の質問の回数は制限していない。町政について細部にわたり踏み込んだ活発な質問が交わされ、町民にわかりやすい議論と政策論争を繰り広げ、議会の活性化に努めている。

### (3) 情報の共有

毎月初日、2部構成の議員全員の例月会を開催し、1部では、町長等執行機関に対して執行状況の報告を求め、また、2部では、議会の会議開催状況や研修会情報、広域組合の議会情報等について、議員全員で情報共有している。また、課題についても必要に応じて担当課の説明を求め、議会運営について意見を提起できる場としている。

常任委員会でも毎月27日例月会を開催し、執行状況の報告を求め、所管事務についての調査・研究のため、町内外での事務調査や行政視察を実施し、積極的に情報収集と情報交換を行い、議員自らの知識向上と専門性を高めている。

## 2 住民に開かれた議会

### (1) ケーブルテレビによる議会情報公開

定例会本会議は、平成15年度より町内全域に整備されたケーブルテレビを活用し、定例会本会議の全てを生中継している。本会議開催月には、内容を修正することなく再放送も実施している。また、役場庁舎内ロビーや各課へモニターテレビを設置し、来庁者に気軽に議会を見てもらえるよう配置している。傍聴者には一般質問の要旨等を議場で配布し、審議内容がわかりやすいように

対処している。平成24年9月からは、デジタル放送に対応する改修を行い、高品質な放送を行っている。

#### (2) 議会ホット情報便

毎月第3木・金曜日に、前月の議会活動をケーブルテレビで放映。議員の持ち回りで編集・放映を実施し、議会の情報を提供し、町民の議会に対する関心と理解の高揚に努めている。

#### (3) みらい議会

経営企画室・教育委員会や学校との連携のもと、「小・中学生みらい議会」を開催し、町民の議会への関心が高まるよう取組んでいる。町のゆるキャラ「柿丸くん」も小学生の提案から実現した。

#### (4) 議会だよりでの広報

議会だよりは、現在113号を発刊している。議会での活動内容が速やかに町民に届けられるよう、定例会の翌月8日に発刊し、全戸配布しているほか、公共施設の窓口に配布し、議会の情報を提供し、町民の議会に対する関心と理解の高揚に努めている。議会広報の編集に当たっては、議会だより編集特別委員会を6人で組織し、研修会の参加や先進地の視察研修を行い、住民に親しまれる議会広報を目指し、分かりやすい紙面づくりを心がけている。

### 3 地域振興のために特別な取組みをした議会

(1) 飯田下伊那地域に設置するリニア中央新幹線の県内駅について、JR東海は飯田市座光寺―高森町下市田付近を候補とする位置案を提示している。2027年に開通が予定されているリニア中央新幹線の駅開業に向けて、長野県をはじめ、飯田市を中心とした周辺市町村において各種プロジェクトが検討中であり、リニア中央新幹線の効果を享受し、全国に発信するため、視察・研究の展開を図っている。